

(3) 大学院

1. 医学系専攻博士課程

従前より大学院の改善充実を図るため種々検討を重ねてきた。平成20年度は大学院をより充実させるとともに平成19年度に未実施であった改善案を実行に移した。

主な改善項目は以下のとおりである。

- ① 社会人の勤務体制を考慮し、大学院の一部の授業（共通カリキュラム、選択カリキュラム）を夜間の時間帯と土曜日に設定した。さらに社会人学生の在籍する以外の授業細目まで社会人のカリキュラムを作成した。社会人用のカリキュラムを導入している授業細目科と研究部門は11の授業細目科と3部門の総合医科学研究センターである。
- ② 医学研究科における研究の充実とその活性化を図るため医学研究科の助成制度（東京慈恵会医科大学医学研究科研究推進費）を実施し、3件採択した。
- ③ 大学院共通カリキュラム「医の倫理」、「医学研究法概論」の授業の一部を公開講義として大学院生のみならず一般の研究者の涵養の場とし、多くの研究者が出席した。
- ④ 日本学生支援機構による第一種奨学金の貸与を受けた大学院を対象とした「奨学金返還免除候補者選考委員会」を創設し、規定と選考基準を整備した。
これにより2名の応募があり、1名を日本学生支援機構に推薦した。
- ⑤ 平成15年度から継続している大学院生研究発表会の内容の見直しを行い、プレゼンテーション能力を磨き、専門外の研究に対しても自分の意見を述べる能力を磨く趣旨に改めた。

平成21年度の大学院入試は2回実施し、1回目は平成20年10月4日に、2回目は平成21年1月31日に実施した。その結果、21名（うち社会人5名）が合格した。この結果、大学院全体の学生数は87名となった。本学の大学院生は本学の各講座、総合医科学研究センターのみならず、国外ではヴァンダービルト大学、ノースウェスタン大学、スタンフォード大学、ハーバード大学、ベイラー医科大学など、国内では東京医科歯科大、大阪大、千葉大および放射線医学総合研究所、国立循環器病センター研究所、など国内外の様々な大学、研究所でも広く研究を行っている。

2. 看護学専攻修士課程

医療の場で看護を実践している看護職者に、より高度の教育を受ける機会を提供し、高度な知識と技術をもって専門職業人の育成と看護研究者として看護の質の向上に貢献できる人材の育成を目指し平成21年4月開設に向けて準備を進めてきた。

申請書類一式を整えて平成20年5月30日に申請し、平成20年10月31日付で設置認可がおりた。

入学試験は、募集を平成20年11月10日（月）～11月20日（木）間に行い、初年度入試を平成20年12月6日（土）に実施した。その結果、21名の応募があり、12名が合格した。

6) 慈恵看護専門学校の状況

看護専門学校学生数（平成21年4月現在）

	1年生	2年生	3年生	計
	人	人	人	人
慈恵看護専門学校	102	104	99	305
慈恵第三看護専門学校	51	53	49	153
慈恵青戸看護専門学校			27	27
慈恵柏看護専門学校	84	76	55	215
計	237	233	230	700